

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 7 日作成)

小委員会名	生きた景観マネジメント小委員会	主 査 名：嘉名 光市 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小浦久子 主 査 名：
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・活力ある都市を実装、可視化する「生きた景観の創造とマネジメント」を展望し、研究、課題抽出、提案を行う ・生きた景観の概念の確立と技術領域の整理、プロジェクト事例の収集の分析による生きた景観マネジメント技術と制度体系を構築する。 ・毎年景観ルックインを開催するとともに、公開研究会を開催し研究成果を報告する。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 (3名の委員公募を実施) 嘉名光市 (大阪市立大学)、大影佳史 (関西大学)、栗山尚子 (神戸大学)、志村秀明 (芝浦工業大学)、阿久井康平 (富山大学)、阿部大輔 (龍谷大学)、阿部貴弘 (日本大学)、大野整 (都市環境研究所)、佐藤宏亮 (芝浦工業大学)、高野哲矢 (都市環境研究所)、沼田麻美子 (東京工業大学)、原田栄二 (東北大学)、松井大輔 (新潟大学)、三宅論 (岩手大学)、山下裕子 (まちなか広場研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://keikansyouiinkai.jimdo.com

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む、幹事会・拡大幹事会を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物(シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 公開研究会(「生きた景観マネジメントの実践 in 京阪神」、6月2日 参加者数 53 名 (レジュメ等の資料を配布し、基調講演、事例報告、意見交換を実施) 2. 景観ルックイン(「原発災害からの復旧・復興過程と景観 - 南相馬の現状と展望」、まち歩きならびにミニシンポジウム) 9月3日 参加者数 40 名 (バスツアー、見学用地図、レジュメ等資料を配布し、ミニシンポジウムを開催)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会初年度でもあり、公募委員を含む委員全員での「生きた景観マネジメント」に関する、問題意識・関心・関連概念・事例等について各自が提示しながら意見交換を行い、今後の研究の枠組みや調査対象事例の抽出を行ない、概ね当初計画を達成している。 2. なお、年度内に開催予定であった公開研究集会(テーマ案：生きた景観の可能性)については、2018 年 5 月開催で調整・準備している。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会への委員の出席率は高く、熱心な議論が行われているが、小委員会の予算では、交通費の支給が一人あたり 0～2 回程度しかできないため、遠方の委員の負担が大きくなっている。